

**授業概要**

他の司書課程科目での学修を踏まえ、実際におこなわれている図書館サービスのより具体的な理解を深める作業を指導します。

実際のレファレンスサービスに関する記録の輪読、利用案内の収集と検証、パスファインダーの制作を予定しています。

**授業計画**

第1回	イントロダクション
第2回	レファレンスサービスを知る 1.大規模公共図書館
第3回	レファレンスサービスを知る 2.小規模公共図書館
第4回	レファレンスサービスを知る 3.大学図書館
第5回	レファレンスサービスを知る 4.専門図書館
第6回	レファレンスサービスを知る 5.学校図書館
第7回	利用案内を読む 1.紙による利用案内
第8回	利用案内を読む 2.ウェブによる利用案内
第9回	利用案内を読む 3.図書館の概要を伝える
第10回	利用案内を読む 4.さまざまなサービスを伝える
第11回	パスファインダーを作る 1.パスファインダーの実例
第12回	パスファインダーを作る 2.テーマの設定とメディアの種類
第13回	パスファインダーを作る 3.設計と調査
第14回	パスファインダーを作る 4.制作
第15回	パスファインダーを作る 5.評価
第16回	試験

**到達目標**

以下のことを通じて図書館サービスに関する実践的な理解を得ることを到達目標とします。

1)レファレンスサービスの実際を多く知り、レファレンスサービスにおける図書館員の役割やレファレンスツールについての知識を得る。2)利用案内から必要な情報を読み解く能力を得る。3)パスファインダーの意義と制作過程を理解し、簡単なパスファインダーの制作を経験する。

**履修上の注意**

司書課程における応用的な科目として、関連領域の知識と理解を前提としています。とりわけ図書館概論と図書館サービス概論が履修済みであることが求められます。不安のある方はご相談ください。

**予習復習**

示された課題について準備の上授業に臨んでください。

授業中に出た理解していない用語については、自分の言葉で説明できるようになるまで確認してください。

**評価方法**

テーマごとの課題の提出(3件・各最高25点・必須)、および期末レポート(25点満点・必須)を主とします。それに議論への参加(最高15点)、任意のレポート(1件につき最高15点)を加え、合計で51点以上を合格とします。100点をこえた場合は100点として取り扱います。

全回出席を原則とします。

**テキスト**

特にありません。

参考とすべき資料を講義中に紹介します。また、必要に応じて資料を配布します。